

溝小だよ

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校

学校通信 No.367

2024.3.31

発行：校長 小林 聡

学校教育目標：ふるさとだいすき かしく つよく やさしく
～つながりの中で わたしたちが創る 楽しい学校～

「かわらなでしこ」のように つよくやさしく伸びやかに

3月18日（月）、来賓の皆様と保護者の皆様にご参列いただいた中で、令和5年度卒業証書授与式を行いました。成長した姿で凛として式に臨む卒業生11名は、本当に立派でした。

ご卒業おめでとうございます。心から卒業をお祝いし、はなむけの言葉を贈りました。

今年の夏は「地球沸騰」と言われるほどの猛暑でした。あの暑さに耐え、色鮮やかに凛としている姿と「撫でるほどかわいい」の語源通り、風にゆられながら咲く姿に、あんなに小さい種からこんなにも強く美しく育ったのかと、いっそう愛しくなったものでした。

最高学年になった君たちは毎日下級生と一緒に遊び、全校生のことを考えたミニ溝小チャレンジ、縦割り給食、縦割り勉強など新しいことに挑戦しました。君たちの立ち振る舞いは、いつの日からか「かわらなでしこ」に重ねて見えるようになりました。下級生に寄り添い、穏やかに話をしている姿は、風にゆられてしなやかに咲く姿に。運動会で顔を真っ赤にして応援する姿や相撲、持久走で最後まで力を尽くす姿は、猛暑に耐える姿に。

「かわらなでしこ」は君たちそのものです。真っ青な空の下で強くやさしく咲く姿は、未来に向かって伸びやかに成長する君たちそのものです。

世の中は常に変化し、進歩しています。中学校の3年間は新しく学ぶことばかりです。だからこそ、自分から新しい一歩を踏み出さなければなりません。「復活プロジェクト」がそうだったように、思い通りにならないこと、やってみて初めてわかることが山ほどあります。心を込めて精一杯やった分だけが力になるのです。君たちが思い描いていた校歌に歌われる「咲きさかる かわらなでしこ」、その風景に復活するまでにはまだまだ時間が必要なように、君たちも志を胸に時間をかけてじっくりと自分を成長させていってください。（中略）

卒業生のみなさん、下級生と一緒に植えた正門脇の新しい花壇の苗は、春の訪れを今か今かと待っているようです。かわいらしい花がまた見られるかと思うと、本当に楽しみです。

「かわらなでしこ」の花を見るたびに、君たちを思い出します。

大きくたくましく育った「かわらなでしこ」のように、これからも自分の可能性を信じて、つよくやさしく伸びやかに成長することを心から願っています。（式辞より抜粋）

保護者の皆様、地域の皆様には、今年度も多大なるご支援とご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。来年度も子どもたちの成長を願い、全職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。

「未来につなぐ創立150周年」

記念式典の日程が下記のように決まりました。

コンサートの中でアルケミスト作詞・作曲の「150周年記念の歌」も子どもたちの歌声とともに披露されます。地域のみなさんのご来場を心よりお待ちしております。

日時：令和6年11月9日（土）午前 場所：溝延小学校体育館

内容：記念式典（来賓：森谷町長、板坂教育長）

アルケミストコンサート（「150周年記念の歌」披露を含む）

本校ホームページへ
こちらからどうぞ



（校長 小林 聡）